

## 中野山遺跡（第11次）No. 13

所在地：四日市市北山町

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=35.047974537037035,136.58725141242937>

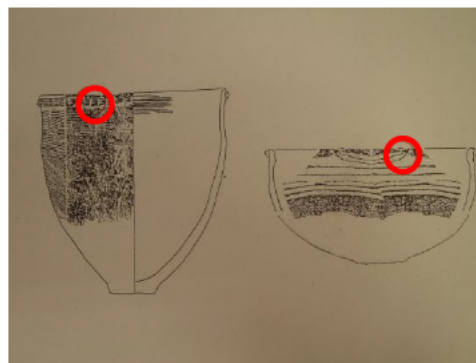
前回は縄文時代早期の土器を紹介しましたが、今回は縄文時代終わりから弥生時代初め頃（約2,500年前）の土器を2点紹介します。2点とも破片ですが、土器につけられた模様が確認できました。1点は突帯文（とったいもん）という粘土ひもを帯状に貼りつけた土器、もう1点は浮線文（ふせんもん）という線が浮いたように見える文様がつけられている土器で、豊富な文様を持つことで知られています。

突帯文土器はこの地を含む西日本に特徴的な土器で、稲作の農耕文化を持った人たちが使っていたと考えられています。一方、浮線文は東日本に特徴的な土器で、この地方にもわずかに持ち込まれました。

縄文時代から弥生時代に向かう時間の流れ、西日本と東日本の文化の交流がこの中野山遺跡にあったことを、これらの土器が語ってくれます。長い縄文時代が終わり新しい農耕文化が始まろうとする時代のうねりが、この中野山遺跡にあったと考えると想像が広がります。



突帯文土器（左）と浮線文土器（右）



突帯文と浮線文を持つ土器の図  
（○部分が破片の部分）

左側の突帯文土器は深鉢（ふかばち）の口の部分じゃな。貝殻でつけた文様が帯状に残っているの。  
右側の浮線文土器は文様以外のところをなでているので文様が際立ってみえるんじゃ。



モグ博士

第 11 次調査は 1 月に終了し、第 10 次調査も先日終了しました。今年度の中野山遺跡の発掘調査はこれですべて終わりました。来年度も引き続き第 13 次調査が行われる予定です。これらの調査の結果はすべての調査を終了した後、しっかりと整理・分析したうえで報告書という形でみなさんにお知らせしたいと思います。

これからも、中野山遺跡の調査にご注目ください。

これまで三重県埋蔵文化財センターで行った発掘調査の報告書も各市町の図書館で見えていただくことができますので、ぜひご覧になってくださいね。



アーリーちゃん

#### 問い合わせ先

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 3 課四日市整理所

電話番号：059-363-3195 / ファックス：059-363-3196

e-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)